

書物との出合

およその物の収集にはいろいろな言
い方は異なるが、運、眼、金が必要
という、そのうち、眼、金はとも
かく運にまつわる私の思い出で話
を申し上げましょ。

卷一

およその物の収集にはいろいろな言
い方は異なるが、運、眼、金が必要
という、そのうち、眼、金はとも
かく運にまつわる私の思い出で話
を申し上げましょ。

う品物は本屋の市に出来ました。しかし
かも出したのはあなたの御存知の
Sさんですよ。残念無念、早速S
氏に掛会つたところ、今日他の本
と一緒に市に持込みました。明日

はあつた吉祥堂を見ておられ、そのた
入口には先生の椅子の類が私の就
まのこつていた。

京都古書
谷 竹 大

中京区区役所
電二二一〇六八
錦小路上ル
書

伊藤祐昭

た

第二話

季刊
第4号
京都古書研究会
発行
〒604 京都市中京区
東洞院六角上
京都府古書籍商業協
組合
年間購読料 240
(送料込)

伏見W氏は言うまでもなく、春和堂若林正治氏のことであり、往時に転賣されていて。N氏はさらに勅版日本書紀神代巻を寄贈した。転賣先の仁王門川端の道具店に走った。伊藤さん駄目です、とうと先代茂一郎氏とともに二代にわたって京都大図書館に善本を送つて與れ

すか、あれは昨日お客様から買いました。まだ整理してません。佐

れの宿命がある様に思はれるのである。

・古書のご整理は 京都古書研究会加盟店へ

阪急古書のまち
一丁目、梅田
田中市北

佐々木惣四郎隆一氏、書肆竹苞
樓六代の当主である。京都府立一
中を卒業後、家業に就く、特に本
邦古典籍に就いて造詣深かつた。
昭和五十三年十二月十九日—逝去、

遺稿

昭和初めの京都の大学の先生方と竹苞楼

故・佐々木惣四郎

六代目

筆者紹介 元京都大学附属図書館
現 菲短大圖書館長 整理課長

御冥福を祈る。

寛延四年（一七五一年）創業という京都で一番古い古書店「竹苞樓」六代目店主佐々木惣四郎氏が昨年末亡くなられました。京の和本屋として今日まで連綿と続くこの老舗は京の古書店の誇りでもあります。明治三十九年に生れ、京中卒業後今日まで、和本一筋であった故人の追悼して、ここにかつて洛味（二八六号）に掲載された一文を紹介します。（紙面の都合で一部割りました。）

当時の京都大学には頑学が大勢揃つて居られました。文学部の中には、内藤湖南・狩野君山・鈴木豹軒・高瀬惺軒・本田蔭軒等の諸先生が居られました。現在の良老吉川幸次郎先生・神田喜一郎先生達は学生でした。湖南先生は小柄なお方でご趣味が広く、よくお見えになりました。

た。

一寸面白いお話をあります。加茂の旧社家のより藤原惟岱の自筆の日記の断簡を手に入れました。先生がお越しの時にご覧に入れましたところ、大阪の落城の時の事が書いて居りましたので先生はこれは面白い資料だと御買取りになりました。その後社家の家の息子が越して居りましたので先生はございました。

六代目店主佐々木惣四郎氏が昨年末亡くなられました。京の和本屋として今日まで連綿と続くこの老舗は京の古書店の誇りでもあります。明治三十九年に生れ、京中卒業後今日まで、和本一筋であった故人の追悼して、ここにかつて洛味（二八六号）に掲載された一文を紹介します。（紙面の都合で一部割りました。）

当時の京都大学には頑学が大勢揃つて居られました。文学部の中には、内藤湖南・狩野君山・鈴木豹軒・高瀬惺軒・本田蔭軒等の諸先生が居られました。現在の良老吉川幸次郎先生・神田喜一郎先生達は学生でした。湖南先生は小柄なお方でご趣味が広く、よくお見えになりました。

た。

その後店に来ましたが、父はその子息の父御より譲り受けたものと聞いて居ります。君山先生の息は先生の所へ行つて結局先生の書を書いてもらつて日記を断念し

たと聞いて居ります。君山先生の息とは毎月染味会（全国のおいしいお菓子を楽しむ会）で御心

安くして頂いて居ります。高瀬先生は毎日散歩されたので有名でした。先生には武者の小路にお医者

様で中田様という御方がおりまし

て、白木屋の大村家の御親戚で、

大村家が陽明学の三輪執事と関係

のことから文庫を設立されま

した。それで毎月関係した書物を

お集めになり、毎月先生に御選定

して頂いて居りました。その後そ

の文庫は立命館大学の方に御寄附

になりました。又、店前の本能寺

に漢学研究会があり、陽明学の伝

習録講義がありまして、毎月御出

になりました。

この研究会は初めは元衆議院議

長の奥繁三郎氏より資金が出て居

りましたが、後その会は五条の呉

服屋さんの八木清八さんや樂焼の

元楽吉右衛門さんの後援で長いと

間続いて居りました。国文学の方

では江戸文学の藤井紫影先生が居

られます。御酒が好きで、父と

は良く氣があいましておいしい酒

のさかながあるとお宅へお駆けに

上りました。上田秋成の研究では

有名で秋成遺文の名著があります。

朝日新聞より近松全集も刊行して

居られます。秋成の自筆ものは色

々と買つて頂きました。淡路の出身です。和服ですと御出でした。

今野間光辰先生の様です。

国文学では吉沢義則先生がよく

お越しになりました。

最後は奈良教育大学の学長で亡

くなりました。「能学原流考」で恩

のできるまでは武者小路に御住い

でした。京大の方や久原文庫（こ

の文庫は只今東急文庫の方へ入り

ました）、先生御自身にも色々と珍

本を買って頂きました。當時家に

残つて居つた藤貞幹の遺書・藏書

も括して久原文庫に納まりました。

吉沢先生は、當時京大より出て

居つた芸文に研究を発表して居ら

れます。新村出先生は長い間京大

の図書館長をして居られました。

その間に良い本が沢山京大に入っ

て居ります。新村先生の御子息の猛さんは私と中学で同級でした。

お姉さんは私の姉と府一で同級で、

藤本ビルブローカー銀行の谷村一

太郎さんの御子息の所へお嫁に行

つて居られます。その関係から谷

村さんの蔵書（古版古写連歌関係

のコレクション）は京大に谷村文

庫として寄附されて居ります。先

年目録もできました。私の姉婿は

能勢朝次で、藤井・吉沢・新村の

諸先生方に京大で教えて頂きました。卒論は芭蕉の研究でした。大

谷大学の教授の時代には神田喜一

郎先生、山口益先生（佐々木家の宿坊願照寺の住職さん）がご一緒

でした。能勢（丹波の山国村の出

身）は京都師範より東京の高師へ

行きました。その同級生には山岸

徳平・石田茂作・清水泰の諸先生

がありました。その後母校の教授

に迎えられました。

最後は奈良教育大学の学長で亡

くなりました。「能学原流考」で恩

■日本で初めての四柱推命学専門事典！

四柱推命学事典

四柱推命学に関する古今の文献を涉り、斯学において使用される殆んどの専門用語、1440余項目を収録。

多くの図式や命式例を引用し、初心者から奥伝にいたるまで、座右の書として活用できる唯一の専門事典。

●内容見本送呈

■絶賛発売中、亀石崖風・著 定価13,000円

A5判 / 布貼装箱押・堅牢本 / 早見表付録2枚
総1140頁・項目数1440・図表220・命式例560余

発行所 株式会社 京都書院

京都市中京区堀川通三条上ル西側 (075) 841-9123
(常設展示場)

京都市中京区河原町四条上ル西側 (075) 221-1062

古本よもやま話(四)

藏志と解体新書

若林正治

我が国の解剖書で有名なものに

杉田玄伯の「解体新書」がある。

序図、本文一七四共大本五冊である。江戸の小塚原で刑死した罪人を数人が立ち合つて解剖を見学したものだ。此の時杉田玄伯と前野良澤がたまく同じキルムスのターヘルアナトミアを手にして居た。一七三四年アムステルダム刊の蘭訳本である(最近日本で複製本が出来た)。金原発売、五百部限定で二万五千円。書物を手にして解剖を見て行くと精確な図版と実際とが余りにも合致しているのに一同は驚いた。皆は何とかして此の図を写し序文を翻訳して見ようとして云ふ事になり色々苦心の末三年を経て解体新書が出来上がった。即ち明和八年(一七七一年)觀藏、安永三年(一七七四年)出版。苦心の次第は蘭学事始(明治二年刊半紙本二冊)に精しい。石川大浪筆杉田玄伯の肖像の人った此の本も珍本の一つだが今は岩波文庫に洋が六角の獄舎で刑死した罪人を

西河原で解剖している。但し医師自身が執刀したのではなく非人が解剖して行くのを見ていて記録を取つて行き、後に出版したのである。天保四年(一七五四年)觀藏、宝暦九年(一七五九年)出版。その名は「藏志」。之は解体新書に先行する事十数年になる。一昨年たつたか何百年記念に記念碑が六角獄舎跡に建設され私も多少寄附した。最近展覧した事ないが東洋の墓は東福寺の西門を入つた北側の塔頭にあつたと覚えている。

昭和八年の夏頃だったか鳥丸一条の佐伯理一郎「綠夜莊」の藏書立てがあった。主催者は佐々木竹苞楼、補佐羽田竹櫻堂とあつた。佐伯氏は下京区に産院を経営し看護婦養成所も併設され医学に関する書物や書画幅の蒐集では大変有名であった。産科の学会誌に日本女科史を執筆され後に抜刷も出ている(之も先年覆刻された)。當時確かに私は二高の二年生で此の日は午後化學実験であった。定性分析は三人一机で報告書は一通出せば良かったが私は他の二人に頼み込んで因果を含めあと頼むと云つて日々

西河原で解剖している。但し医師自身が執刀したのではなく非人が解剖して行くのを見ていて記録を取つて行き、後に出版したのである。天保四年(一七五四年)觀藏、宝暦九年(一七五九年)出版。その名は「藏志」。之は解体新書に先行する事十数年になる。一昨年たつたか何百年記念に記念碑が六角獄舎跡に建設され私も多少寄附した。最近展覧した事ないが東洋の墓は東福寺の西門を入つた北側の塔頭にあつたと覚えている。

昭和八年の夏頃だったか鳥丸一条の佐伯理一郎「綠夜莊」の藏書立てがあった。主催者は佐々木竹苞楼、補佐羽田竹櫻堂とあつた。佐伯氏は下京区に産院を経営し看護婦養成所も併設され医学に関する書物や書画幅の蒐集では大変有名であった。産科の学会誌に日本女

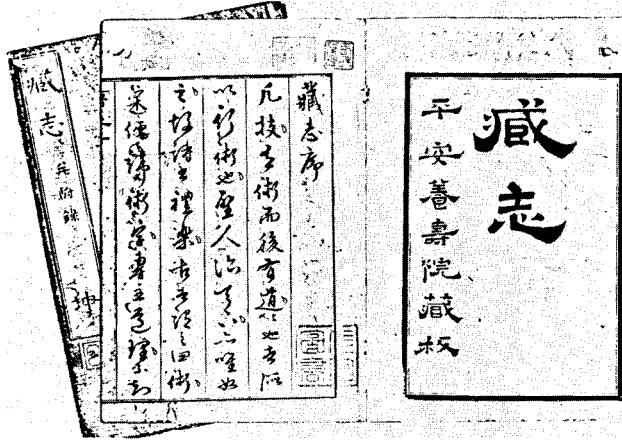
科史を執筆され後に抜刷も出ている(之も先年覆刻された)。當時確かに私は二高の二年生で此の日は午後化學実験であった。定性分析は三人一机で報告書は一通出せば良いに違つていた恩師石橋栄達先生のお宅へは終戦後度々伺つた。一度置かれた和本の中に佐伯文庫の印のある藏志を見い出した時には

びっくりした。先生は本草医学等

に御池の昭和図書館に駆けつけた。二階の部屋全部をぶちぬいて既に大勢の同業者が集まっていた。私は中央の空所に展示してある本を見て行った。あつたあつた目指す藏志は二、三冊他の本と括くつてあった。私としては始めて見る現物である。一体いくらに入れたら良いのか皆目わからぬ。

他にも懸念の本も随分ある。此の時程私は自分の無学と資金の無い事を残念に思つた事はなかつた。藏志の口は二十数円で手を挙げて見ているより仕方が無い。藏志の口は二十数円で大阪の浅妻屋板原氏に落ちた。此の人とは後に大変心安くなる

と感概一入であつた。此の本は今も大事に仕舞つてあります。ちなみに藏志の刊記室曆九年とあるのを見た事がありません。版本は後々まであつたと見え天保十二年と云ふ刊記のある本を見た事がある。二、三年前の大市に解体新書が二部出た事がある。共に余り保存の良い本ではなかつたが両方共五十万円で丸善が落札したのを思い出す。昨年暮の東京の古典会大市に藏志が二部も出た。私は既に多少醉ぱらっていたのと、最近落ち値を克明に控えると云ふ事は止めているので一つは聞きのがしたが一部は八十九万円と云ふ発声でした。



(昭和五十四年四月八日)

(春和堂書店伏見店々主)

写真は

「佐伯図書 藏書印の『藏書』」

乾坤一冊、昭和八年刊行のもの。

本の修理講座

和本篇(三) 表紙の直し方

行う。表紙を継ぎ足す時も、又他の表紙で補修するのも同様に表て表紙と裏芯を割り、表て表紙から補修します。補修が終ると元表紙と補修部の縫目を裏打して補強して置きます。

ただし、表紙破損直しは、中々高度な技術がありよほど注意して慎重に行ないと失敗をします。

(3) 合本、何冊かの本の中、「一、二、三」冊表紙が欠落している場合など一冊又は何冊かにまとめて綴じ合せます。本紙は必ず中綴(表紙を綴る前に本紙と見込を二箇所コヨリで綴つて置く)又は、角布をして止めて行きます。背の折込みは、綴目より少々少なく折込も、小口は背より広く糊代部分を見る。

表紙直しは割合に手間が入りむずかしい部分もあり、注意しないと

原装をも崩す恐れが考えられます。直接表紙直しを行うよりもカバーや帙から表紙の上から仮表紙を掛るなどのなるべく原装を保つて補修する方法を工夫して下さい。

和本の修理は色々とむずかしい点もあり、かなりの経験と応用も要する事ですが、いかに原装を保ち補強が出来るかをよく御考えになつて慎重に行う事が肝要です。今述べたものは、和本修理のほんの一部で多く間違も有ると存じますが、なにかの御参考になればと思います。

(藤井 敦)

本紙の破損修理に次いで、表紙破損の修理を述べてみます。
 ① 表紙替え、破損、欠落した表紙を別の表紙に付替えるのです。新しい表紙を作り、付替えてもいいのですが、他本(端本、欠本等)から元表紙に良く似たもの、又は本書の内容とよく合うものを流用するべし便利です。和本の寸法(判)は、特判でも本により多少、大小があり、表紙の大きいものは、縮めればいいのですが、本紙の大きい場合は、または、小さい判から(例ば、半紙判の表紙を大本に)流用する時は二枚とか一枚半に表紙を継ぎ足す方法があります。これは次に述べます。破損直しの方法を応用出来ます。表紙により継穴の位置の異なる時は、表紙の裏から鉄槌の先で軽くたたき、キリ穴ですので元に戻り、その部分を裏打すれば余り目立ません。他に表紙の無い場合は、新しく表紙を造らなくてはなりません。表紙に使用出来る適当な料紙を選べます。料紙

を裏打します。表紙を(図1)の様に裁って二箇所糊を置き本紙を止めます。本紙は必ず中綴(表紙を綴る前に本紙と見込を二箇所コヨリで綴つて置く)又は、角布をして止めて行きます。背の折込みは、綴目より少々少なく折込も、小口は背より広く糊代部分を見る。

本紙と表紙が動かなくなつてから折込み部分を「へら」で本紙に合せて形をつけ内に折り込む(図2)。

四隅の部分を鋏で切る(図3)小口の部分に糊を置き、見返しと表紙を貼込む(図4)。(この仕方は吉川弘文館発行の古文書研究第九号に詳しく記載有り、参考にして下さい)。

② 破損直し、部分的に破れた表紙の修理です。補修紙は、表紙替えと同様元表紙に良く似た料紙又は、他の表紙を選びます。

まず破損部分の周囲の表て表紙と裏芯の部分を剥し、補修用紙の糊代を作ります。表紙の補修する場合表て表紙から補修し、これは先回の虫喰の直し方と同じ仕方で補修します。つづいて裏芯の補修を

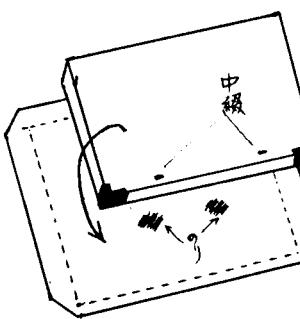


図1

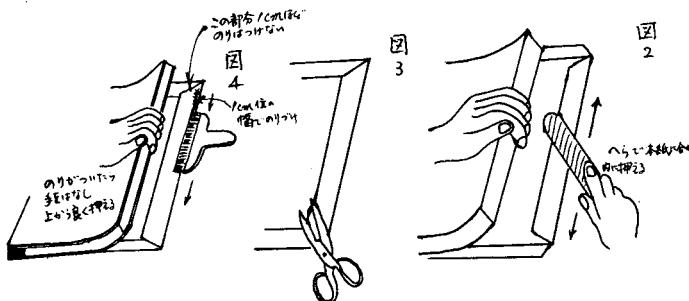


図2

(藤井 敦)

思わぬ出費!

その様な時、御蔵書を手放したくない方は、どうぞ御利用下さい。

○定休日 毎月7日, 17日, 27日
○営業時間 午前10時半より午後7時迄

Z ENSHOD O
本専門の質屋
善書古堂

京都市上京区河原町今出川上ル TEL.231-7711

愛書家の眼

古本と『ニユーヨーカー』
—目録販売への注文—

今年の元旦に『きさの構造』といふエッセイを書きはじめているので、そのためとお考えいたさきたい。

(The New Yorker) であるが、申上げるまでもなく、最も高級な都会派の週刊誌として定評がある。アメリカの新刊書の広告や、書評なども特に面白く、私たちの仕事などにもなる。そしてこの雑誌

私がどうして山口さんを知るようになつたのかよくおぼえてない。しかし東京方面へ旅行する学生で、古書を探しているような場合、必ず山口さんを紹介するならわしだから、大分前から知つていたように思う。

ある古書店主

沖田

たゞよつてくる雑誌であるが、古地図や版画・オリジナル・ポスターといつたもののカタログの広告が出るのは有難いことである。この『京古本や往来』の目録にも、古地図や版画なども出ている

林田満寿夫

店頭に「古書探求に応じます」と大きく看板に書いてある。愛想のよい奥さんも出てきて挨拶された。私が探求している本の名を告げるべと、隅の方で「ごそごしていただが、だいぶんたつてからこれじゃありませんか」とさし出されたものがある。表紙に深沢由次郎訳註「からたち花」とある。明治四十二年博文館発行のものだ。はしがきの中

この和訳があることはわかっていたので、京都でもずいぶん探したが見つからなかつたものだ。山口さんの探求眼には驚いた。

手にしたのを見ると、デイジー、ミラーが「三浦花子」となつてゐる。デイジーは花だから花子とし
うが、これでは普通の人には何のことかわからぬ。これまで埋も

に、「江南の橋も江北に移せばから
くらしてあるが、別に手したホ
ストンのチャイルズ、ギャラリー

収録というので、すぐ注文しての
カタログの到着をたのしみにして
いる次第である。

京へ行かねばだめだということだ。これは資本関係にもよるんだろうが、今一つ熱意にもよるんだろうと思う。たとえば十何年か前の話だが、左京の私の知人で、ヘボンの「和英語林集成」の初版をもっている人がいた。北海道で手に入れたといふ。たしかヘボンの署名があつたと思う。ところがその人が亡くなると、すぐ東京の古書店の人が来

れていたのはそういうわけなのだ
ろう。明治以前のものにはこうい
うふうにかってに和訳してあるの
が多いから困る。私が所蔵する明
治四十五年の「小桜新吉」も、実
はディッケンズの「オリバー・ツ
ウイスト」の翻案なのだ。

の版画のいくつかが紹介されてい
る。その一つの保存状態の説明を
見ると「薄い日本紙で裏打ちがし
てあり、端部に少々の修理が入っ
ているが、それ以外は保存状態良
好。色はフレッシュ」となつてい

「一、二、三もってみえた。私はありがたくいたいた。そういう目的もあつたが、それより大きい目的は伏見にある錬成道場へ赴くことのようだつた。

て、その辞書を四十何万円かで引取って行った。京都の人は指をくわえて見て、いるしかなかった。

山口さんはからだに障害がある。山口も普通の人ほどにはいけない。ところが驚いたことに、ある日この人が東京から伏見の私の家まで来てくれた。ジェイムズ関係の古書で、私がほしがっている書物をこ

を出していたゞきたいし、又古地図や古版画についても写真版入りのものが出来ればと思う。

のは、まことにうれしい。

最近では“特撰古書”(Good Used Books)という広告があ

の本年度の版画カタログは二ドルである。各々の版画の保存状態もくわしく入っているが、本年のカ

私たち“古本狂”にとつては、古本屋を見て廻る事自体に一つの生きがいがあるわけであるが、時

た。

京都在住のある英文学者でミルトンを研究している人がある。この人も山口さんを知っていて、その人から、山口さんはクリスチヤンで、大のミルトン研究家であり、その方面の収集家でもあることを

知った。ミルトンの誕生日には、自分が集めた英文のミルトン関係書をショウウイングドウに展示するのが常だという。それ以来私は、山口さんを畏敬の念をもって眺めるようになった。

(竜谷大学教授)

古書研だより

探求書係より

京古本や往来第一号で探求書コーナーを設けましたところ、全国からそれはそれは多数のお申し出を頂戴致しました。

係員汗だく、腕まくりで整理に追われております。比較的大手

し易い本に関しては、連絡、

納入させていただきました方も御座ります。大部分の方々は非常に難しいご注文でなかなか思

うようには行きません。ご期待

に添えなくて申し分けありませんが、もうしばらくのご猶予を

承りたく思っております。私達

会員も探求書探しには熱を入れ

ておりますが、この往来にコ

ーナーを設け、読者の方々の間で

探求書探しをやっていただくよ

うな計画も立案中で御座ります。

係員一同微力ながら皆様に少

しでもお役に立てばとがんばつ

ております。今後ともどうかよろしくお願い致します。

本来ならお一人一人にご連絡

自らが集めた英文のミルトン関係書をショウウイングドウに展示するのが常だという。それ以来私は、山口さんを畏敬の念をもって眺めるようになった。

(竜谷大学教授)

一投稿歓迎

「目録販売への注文」のテーマやその他古書店に対するご意見をどしどしお寄せ下さい。送り先 〒604 京都市中京区東洞院三條下ル 京都古書組合内

「京都古書研究会」宛

いちまいもの 古本用

(一枚物) 冊

子でなく、版画

番付、瓦版など一枚だけで商品として

扱われるものの便宜的

な総称。今まで案外粗末に扱われていたが、最近史料的価値が見出され、高値を

呼ぶものもある。

インキュナビラ (Incunabula) グレーテンベルクの活版印刷発明以後の十五世紀代の初期印刷本をさす。完本が市場に出ることは今やほとんどなく、片葉でも高値を呼ぶ。その最高峰グーテンベルグ四十二行聖書には五億円の値がつき、日本のドル減らしの第一候補とか。

ローテン (露店) 露天での販売で、正式には行商鑑札と道路專有許可証が必要。京都で古本のよく出るのは二十一日の北野天満宮の露店。

ローマ数字 古本用語ではないが洋書などの発行年によく使われる所以で知つておかねばならない。

I (1) V (5) X (10) L (50) C (100) M (100) を基準としてこれらの組合せで表示する。数値の大きい文字の左にそれより低い値の文字を並べれば減、右側に置けば加となる。例えばIVは4、VIIは7

MCMXLI.VIIIは1948年となる。

一編集後記

◎京に「京都時間」と呼ばれる悪習があります。会合など予定された時間よりもいつも遅れて始まる習慣ですが、本誌もぼつぼつこんな悪習がついてきたのでしょうか。

発行が予定日より遅れてしましました。三月末の全連大市会のためというのはやはり言分けでしよう。した。もっと目録を増やしたいのですが、送料とにらみあわせてござりますが、会員の文苑堂東野喜久雄氏が肝臓病で入院。目録がすこし寂しくなりました。一日も早い回復を。これがリミット。ご注文のほどどうかよろしくお願ひします。

◎会員の文苑堂東野喜久雄氏が肝臓病で入院。目録がすこし寂しくなりました。一日も早い回復を。

◎新年度を迎え目録を増頁にしました。もっと目録を増やしたいのですが、送料とにらみあわせてござりますが、会員の文苑堂東野喜久雄氏が肝臓病で入院。目録がすこし寂しくなりました。一日も早い回復を。

いただいておりますが、第一号は品切、第二号も残分僅少です。

いよいよ本誌の既刊分の申込みを多くさんいただいておりますが、第一号は品切、第二号も残分僅少です。

本誌の既刊分の申込みを多くさんいただいておりますが、第一号は品切、第二号も残分僅少です。

いよいよ本誌の既刊分の申込みを多くさんいただいておりますが、第一号は品切、第二号も残分僅少です。

即売会

近鉄百貨店第四回 古書即売会 四月二十七日(土)五月二日

いんふおめーしょん

古書業者のみ。古書即売会とおまちがえでおいでになつた方もあるりましたが、我国ではこうした取引に一般の方の参加は認められておりません。

次号予告

「京古本や往来」第五号(夏号)は七月二十日発行の予定です。

御注文は各書店へ

——今回のサービス品（一〇セット先着順）——

本専門質屋・買入
英米文学研究書専門
電話 (〇七五) 一三一—七七二二
株式会社 善書堂

〒602
京都市上京区河原町今出川上ル

〒602 京都市上京区烏丸通今出川上ル
同志社大前

沢田書店

電話（〇七五）四五一一〇五三
振替 京都 一九一四八
田書店

1	シエイクスピア全集 中央公論	小冊子付、二下函納	昭8	三、000
2	日本プロレタリア傑作選集 蔡松、原田、吉川、高橋、村山、伊藤編著	九冊	昭5	三、000
3	水上瀧太郎全集(全40冊) 横尾、浦野、岩波書店	十二冊揃	昭16	三、000
4	歌稿浮・菓 解説付	長崎編著	昭12	五、000
5	修柴田金源氏いてふ本	柳澤空南著	昭10	三、000
6	近世毒婦伝	成田武蔵、吉田八郎著	一四四冊	昭3
7	雑誌解放 日本国民性の研究	橋本義典著	大14	一、000
8	武井雄武作品集(一)童画	キヤスカ	昭49	六、000
9	戯聖セザンヌ	成田武蔵著	昭17	二、000
10	渾斎隨筆	中央公論編集	昭13	二、000
11	隨筆紅豆集	奥野信太郎著	昭11	二、000
12	変奏曲小形本	福原麟太郎著	昭10	二、000
13	ハンガリ子の風 小型本	福原麟太郎著	昭14	二、000
14	戸板根二	初版箱ツキ	昭13	二、000
15	聞かひから見かじり、読みかじり	坂東三津五郎著	昭15	二、000
16	隨筆集獨兎抄	武智鉄二著	昭16	二、000
17	羽左衛門評活	初版箱ツキ	昭17	二、000
18	作者部屋から	東京堂著	昭18	二、000
19	春鳥	成田武蔵著	昭19	二、000
20	故園隨筆	中央公論編集	昭20	二、000
21	二つの道	坪田譲治著	昭21	二、000
22	ある人生のなかに	宇野浩二著	昭22	二、000
23	たんぽぽ	川端康成著	昭23	二、000
24	花と鎖	阿部知二著	昭24	二、000
25	六人の作家	井上靖著	昭25	二、000
26	花壇	井上靖著	昭26	二、000
27	反悲劇	倉橋由美子著	昭27	二、000
28	わたしのなかのかれへ	倉橋由美子著	昭28	二、000
29	土と兵隊	直木賞著	昭29	二、000
30	花と兵隊	生島治著	昭30	二、000
31	大野草平	大野草平著	昭31	二、000
32	火野葦平	火野葦平著	昭32	二、000
33	大野草平	大野草平著	昭33	二、000
34	かひしなの	河内和洋社著	昭34	二、000

昭昭昭昭大大大昭大昭大大昭昭大大大大大昭大大大大昭
22 27 18 16 12 12 12 7 11 11 14 11 11 25 14 10 8 13 15 14 14 14 10 12 11 12 11 11 10 29

〒604
京都市中京区寺町錦小路上北

京都市中京区寺町錦小路上
〒601

文藻堂
京都市中京区新烏丸通竹屋町上ル
604

〒606
京都府左京区淨土寺西田町八十一ノ四
法律・経済・思想
一般書
竹岡書店

〒604
京都市中京区河原町通三条上ル

キクオ書店

電話
振替 (○七五) 二三一一七六三四
京都 一七六四〇

本号では民俗・風俗関係の文献を特集しました。
洋書・歴史・郷土史・民族・民俗・東洋・南洋・登山
探検書を主に売買しております。

- | | | | | |
|-------------------------------------|------------------------|-----------|------------|--------|
| 八重山の社会と文化 | 木地師の習俗(2) | サンカの社会 | 無形の民俗資料記録① | 昭44 |
| 日本歳史事—京都の部 | 農村の年中行事 | 山村小記 | 三角 寛 | 二、四〇〇〇 |
| 下田年中行事 | 山村風物帖 | 山村 | 向山雅重 | 五、〇〇〇 |
| 日本民族芸能事典 | 日本民族の年中行事 | 日本民族の年中行事 | 高橋康文 | 二、〇〇〇 |
| 民俗芸能探訪録 | 民俗芸能(風流西日本) | 日本民族の年中行事 | 武田久吉 | 四、四〇〇 |
| 祭 | 文化庁 第一法規 | 日本民族の年中行事 | 平井平次郎 | 三、六〇〇 |
| 年中行事 今と昔 | 本田安次 | 日本民族の年中行事 | 本田安次 | 二、四〇〇 |
| カナダ郷土の祭り | 第三回関東東北北海道 | 日本民族の年中行事 | 昭51 | 二、四〇〇 |
| 芸能民俗図誌 | 日本祭礼風土記 | 日本民族の年中行事 | 昭35 | 四、四〇〇 |
| 日本祭礼風土記 | 第三回関東東北北海道 | 日本民族の年中行事 | 昭34 | 五、四〇〇 |
| 三味線の知識・邦楽发声語 | 富士松亀三郎 | 日本民族の年中行事 | 昭32 | 三、四〇〇 |
| 信濃の民謡 | 二二〇曲風土記 | 日本民族の年中行事 | 昭46 | 六、四〇〇 |
| 日本の民謡—南から北から | 町田等 | 日本民族の年中行事 | 昭50 | 一、四〇〇 |
| 郷土の民謡 | 中山義夫 | 日本民族の年中行事 | 昭50 | 一、四〇〇 |
| 日本音楽講話 | 松川二郎 | 日本民族の年中行事 | 昭50 | 一、四〇〇 |
| 日本音楽講話 | 田辺尚雄 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 故実叢書—武器考證 | 本田桂川 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 日本氣象学史(科学新書) | 本山桂川 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 新講大日本史—日本科学史 | 荒川秀俊 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 東洋医学原論—三陰三陽病の新解釈 | 中瀬古六郎 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 経験千方百 | 酒井由夫 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 歴史大全 | 佐藤政次編 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 化学発達史 | 植村琢・後藤泰一著 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 日本精神医学年表 | 金子準二編 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 新講大日本史—日本科学史 | 柳田國男 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 佐藤政次編 | 熊谷嘉行編 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 歴史大全 | 青島 攻 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 歴史大全 | 日本人現われた遺伝性疾患及奇形系家系表駒井卓 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 日本精神医学年表 | 吉代美術品に心せられトタマシに關する研究 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 日本精神医学年表 | 山田保次 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 故実叢書—筆の御靈 | 二冊 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 民俗の性典—性的造形 | 伊藤堅吉(五部限定) | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 火の昔 | 柳田國男 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 日本民俗叢書—絵文字及原始文字 | 岡崎仁義 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 日本民俗叢書—絵文字及原始文字 | 岡崎仁義 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 故実叢書—筆の御靈 | 二冊 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 民俗の性典—性的造形 | 伊藤堅吉(五部限定) | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 日本国民全集各卷分売 | 柳田國男 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 定本柳田國男全集各卷分売 | 柳田國男 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |
| 102 113
124
175
216
229 | 各一、九〇〇 | 日本民族の年中行事 | 昭47 | 一、四〇〇 |

御注文は各書店へ

平成25年版急古書のまち 大阪市北区芝田一丁目六番二号	
版急古書のまち 大阪市北区芝田一丁目六番二号	
1 営業時間 午前十一時～午後八時	（〇六）三七四一～三〇〇
2 振替 京都 八〇〇番	郵便局番号
3 定休日 毎週水曜日	（土日祝日除く）
4 田山方南華申記念論文集	（株）臨川書店 大阪店
5 典籍刊記	神田喜一郎
6 典籍説稿	山田孝雄
7 著書往来 創刊～第三五年号 從吾所好社	台湾愛書会
8 愛書（第五集）	昭22一四、五〇〇
9 日本の図書館（一九六九）	昭21一四、五〇〇
10 日本の図書館（一九七〇）	昭21一四、五〇〇
11 年報こともの図書館（一九六九年版）	昭21一四、五〇〇
12 図書館通論 村上清造	昭45一四、五〇〇
13 参考図書選択目録一九六六年大図書館	昭45一四、五〇〇
14 参考図書選択目録一九六七年大図書館	昭45一四、五〇〇
15 參考図書目録（東工大図書館）	昭52一四、五〇〇
16 司書教諭講習演習資料 図書館協議会	昭32一四、五〇〇
17 英米目録規則 国際十進分類法	昭43一四、五〇〇
18 富山大会研究集録（一九七二）	昭43一四、五〇〇
19 東京大学図書館情報学セミナー 第六回教育指導者講習研究集録	昭43一四、五〇〇
20 大学の研究・教育に対する図書館の在り方とその改革について附資料 国立大協会	昭43一四、五〇〇
21 昭和52年度研究大会発表要綱	昭43一四、五〇〇
22 第20回国書館問題研究会	昭43一四、五〇〇
23 住民のための図書館を考えよう 理論を学びあおう	昭43一四、五〇〇
24 昭和52年度研究大会発表要綱	昭43一四、五〇〇
25 全国大会研究集録（一九七二）	昭43一四、五〇〇
26 住民のための図書館を考えよう 理論を学びあおう	昭43一四、五〇〇
27 全国公共図書館参考事務研究集会	昭43一四、五〇〇
28 富山県民読書実態調査報告書	昭43一四、五〇〇
29 科学技術情報の全国的流通システムに関するシステム分析調査報告書	昭43一四、五〇〇
30 抄録作成に関する基準案	昭43一四、五〇〇
31 書誌的情報の記述に関する基準案	昭43一四、五〇〇
32 雑誌の情報に関する基準案	昭43一四、五〇〇
33 日本文庫目録	昭43一四、五〇〇
34 明治文化資料叢書目録	昭43一四、五〇〇
35 國書案内（第一号）	昭43一四、五〇〇
36 帝国議会図書館和漢書目録附図書借覧規則	昭43一四、五〇〇
37 國書案内（第一号）	昭43一四、五〇〇
38 貴族院事務局	昭27一四、五〇〇
39 東京帝國大学附属図書館和漢書目録	昭38一五、〇〇〇
40 東京帝國大学文学部中国哲学中国文学研究室蔵書	昭38一五、〇〇〇
41 東洋文庫十五年史	昭41一五、〇〇〇
42 黒文庫目録	昭42一五、〇〇〇
43 龍谷大学和漢書分類目録	昭43一五、〇〇〇
44 上野文庫解題目録（新聞部門）	昭44一五、〇〇〇
45 関西大学雑誌目録	昭45一五、〇〇〇
46 細江文庫目録	昭46一五、〇〇〇
47 芝居番付目録	昭47一五、〇〇〇
48 「朝日新聞」文庫目録	昭48一五、〇〇〇
49 名古屋市蓬左文庫漢籍分類目録	昭49一五、〇〇〇
50 蓬左文庫典籍叢書	昭50一五、〇〇〇
51 杉浦豊治著	昭51一五、〇〇〇
52 南蛮美術総目録	昭52一五、〇〇〇
53 名古屋市蓬左文庫漢籍分類目録	昭53一五、〇〇〇
54 岩瀬文庫目録	昭54一五、〇〇〇
55 内田嘉吉文庫稀覯書目録	昭55一五、〇〇〇
56 尾崎久弥コレクション目録	昭56一五、〇〇〇
57 佐藤義之著	昭57一五、〇〇〇
58 岩瀬文庫古文書古繪図目録	昭58一五、〇〇〇
59 佐藤義之著	昭59一五、〇〇〇
60 佐藤義之著	昭60一五、〇〇〇
61 佐藤義之著	昭61一五、〇〇〇
62 佐藤義之著	昭62一五、〇〇〇
63 佐藤義之著	昭63一五、〇〇〇
64 佐藤義之著	昭64一五、〇〇〇
65 佐藤義之著	昭65一五、〇〇〇
66 佐藤義之著	昭66一五、〇〇〇
67 佐藤義之著	昭67一五、〇〇〇
68 佐藤義之著	昭68一五、〇〇〇
69 佐藤義之著	昭69一五、〇〇〇
70 海運政策外國文献	昭70一五、〇〇〇
71 佐波宣平	昭71一五、〇〇〇
72 都市計画文献目録	昭72一五、〇〇〇
73 地誌目録	昭73一五、〇〇〇
74 北海道所蔵簿書件名目録	昭74一五、〇〇〇
75 佐藤義之著	昭75一五、〇〇〇
76 佐藤義之著	昭76一五、〇〇〇
77 佐藤義之著	昭77一五、〇〇〇
78 山梨県立図書館蔵書目録	昭78一五、〇〇〇
79 富山県関係新聞記事索引	昭79一五、〇〇〇
80 越中における印刷出版の研究	昭80一五、〇〇〇
81 静岡県郷土資料総合目録	昭81一五、〇〇〇
82 京都府資料所在目録（昭41現在）	昭82一五、〇〇〇
83 郷土志料目録	昭83一五、〇〇〇
84 郷土資料目録	昭84一五、〇〇〇
85 書誌学辞典	昭85一五、〇〇〇
86 辞書解説辞典	昭86一五、〇〇〇
87 本邦辞書史論叢	昭87一五、〇〇〇
88 選擇古書解題	昭88一五、〇〇〇
89 稀書複製会編	昭89一五、〇〇〇
90 大倉精神文化研究所	昭90一五、〇〇〇
91 太田為三郎	昭91一五、〇〇〇
92 小林善八	昭92一五、〇〇〇
93 京東書籍商伝記集覽	昭93一五、〇〇〇
94 日本書籍商伝記集覽	昭94一五、〇〇〇
95 本邦思想史文献解題	昭95一五、〇〇〇
96 オスワルド西洋印刷文化史	昭96一五、〇〇〇
97 活版の巻（少年工芸文庫）	昭97一五、〇〇〇

古書籍
東方書店

〒603
京都市北区小山下内河原町六二二

電器 (四七五)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--------------|---------|---------|-----------|-------------|--------|-----------|----------|-----------|---------|----------|-------|----------|-------|----------|--------|---------|-----------|------|--------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 33 | 32 | 31 | 30 | 29 | 28 | 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 小学校算術書取扱の実際 | 小学算術指導の理論と実際 | 綴方指導の実際 | 日本教育の反省 | 幼稚園の理論及実際 | 縄跳び遊戯の正しき指導 | 普通作法精義 | ビオラム陸上競技法 | 学校体操教授指針 | 手工科教材及教授法 | 校生訓練の実際 | 最新学校体操精義 | 低鉄棒運動 | 学校体操の新指導 | 競技指導法 | 児童体育運動衛生 | 競技指導法 | 課外運動の指導 | 校外体育運動の実際 | 教育体操 | 体操科の指導 | 体操教授学 | 體操衛生講話資料 | 競技指導法 | 競技指導法 | 競技指導法 | 競技指導法 | 競技指導法 | 競技指導法 | 競技指導法 | 競技指導法 | 競技指導法 | 競技指導法 |
| 山本孫一他 | 佐藤太氣美 | 五味義武 | 森川正雄 | 橋崎浅太郎 | 野口源三郎 | 岡山秀吉 | 大西永次郎 | 小野角次郎 | 山田義郎 | 岡田道一 | 吉田章信 | 大谷武一 | 宮田寛造 | 宮田弘嗣 | 二宮文右衛門 | 二宮文右衛門 | 二宮文右衛門 | 山田義郎他 | 大谷武一 | 大谷弘嗣 | 今村嘉雄 | 齊藤薰雄 | 遠山喜一郎 | 宮田造 | 後藤岩男 | 松井三雄 | 少シ | 文部省体育研 | 後藤岩男 | 松井三雄 | | |

〒602
京都市上京区今出川通り寺町西入

藤原北御所書房

電話(〇七五)一四一五九八

1 万葉集叢書 九輯秘府本万葉集抄少湿信綱解説 大15
二、〇〇〇

2 万葉集叢書 索引 三谷栄一編 昭48
万葉圖録 解説共二冊 佐々木信綱・新村出昭15
六〇〇〇

佐々木信綱 昭318
新村 出 招318
万葉清話 一三〇〇
万葉苑占葉

5 万葉精粹の鑑賞 二冊
森本治吉 昭182
三、六〇〇

6 万葉集講義
7 どん底で歌ふ
初版函見返切少汚
伊根岸正吉著
大9
六,000

9	8	晴れた日 白壁	初版カバー 刃坂函	西村陽吉 音鶴寒、寺沢亮	昭2 大3 云々	四、吾 ○○○○
---	---	------------	--------------	-----------------	----------------	-------------

太田水穂選大14
一、八〇〇

121 阿佐綱抒情歌集 初版函 原 阿佐綱 昭4
馬醉木 若山千枝園 昭4
一、000

14 13
悲必沙
冬日
初版函
刃坂函毛筆歌
大井 宏昭
招 0 6
山下秀之助
五、〇〇〇
六、〇〇〇

171
朝の徑
初版函美
秋山青雨
昭181
一、八〇〇

19 18
や 螺 鈿
ま ぐ
に
初 初
版 版

1 20	愛鉤集		
見二行免次義			
函入美	孔版肉筆繪入	楠瀨日年	
東京元之助			
昭5			昭32
一、八〇〇			二、三〇〇

22 樸牛全集(全6) 1-3.4-5 四冊 博文館 大6
三、000

24 23 泡鳴全集
泡鳴全集
全集
14 新體詩作法·新體詩史
新體詩作法·新體詩史
11 10 大五
大五
三、0000

625
上田敏全集(9) 233.5-7-8 五冊 改造社 昭5
久米王准全集(3) 144.0-2 六冊 平凡社 招5
元
00000

327 小波世界おとぎ話全集(6) 14 欠河出書房 昭28 10,000

29 小波世界全集 5 狐の裁判他 生活社 昭19 暖8
定本小波世界お伽噺 5 狐の裁判他 生活社 昭19 暖8

31 三宅やす子全集(5) 1-25 二冊 中央公論昭7
武田太郎(既刊分4) 4-5-2 次一冊 六興出版招20
30 四、五、六

32 川端康成全集(19) 1~8八冊 新潮社 昭23 四、八〇〇

卷之三

二葉亭四迷全集(17)	1~8冊	岩波書店昭28
石川達三作品集(12)	1~6冊	新潮社昭32
室生犀星作品集(12)	1~10欠十冊	昭34
幸田文全集(7)	1~245冊	六、四〇〇
井伏鱒一全集(12)	1~8八冊	中央公論昭34
ホトトギス詠全集(12)	11欠十冊	昭40
統ホトトギス詠全集(春)	。	昭41
俳句大集(10)	9九欠冊	昭42
花袋正郎著作集	2~35	昭43
有島武郎著作集	11~12並本	昭44
綺堂戯曲集	2	昭45
曾我家の豪喜劇全集	。	昭46
曾我廬家五郎全集	。	昭47
谷崎潤一郎全集	12	昭48
幽芳全集	8~12	昭49
武者小路実篤全集	1~35	昭50
潤一郎傑作全集	1~3	昭51
尾崎紅葉全集	6	昭52
小酒井不木全集	1~2	昭53
葛西善蔵全集	3	昭54
講談全集	1~12	昭55
少年少女教育講談全集	8~10	昭56
生田春月文学全集	9	昭57
如是閑文字全集	1	昭58
菊池寛全集	6	昭59
小井和也全集	6	昭60
改造社	各	昭61
春陽堂	各	昭62
改造社	各	昭63
第一書房	各	昭64
其刊行会	各	昭65
岩波書店	各	昭66
版画莊	各	昭67
昭14各	各	昭68
岩波書店	各	昭69
版画莊	各	昭70
昭14各	各	昭71
岩波書店	各	昭72
新潮社	各	昭73
大證閣	各	昭74
アルス	各	昭75
扶桑堂	各	昭76
春陽堂	各	昭77
中央公論	各	昭78
改造社	各	昭79
扶桑堂	各	昭80
春陽堂	各	昭81
大15各	各	昭82
扶桑堂	各	昭83
春陽堂	各	昭84
大15各	各	昭85
扶桑堂	各	昭86
春陽堂	各	昭87
扶桑堂	各	昭88
春陽堂	各	昭89
扶桑堂	各	昭90
扶桑堂	各	昭91
扶桑堂	各	昭92
扶桑堂	各	昭93
扶桑堂	各	昭94
扶桑堂	各	昭95
扶桑堂	各	昭96
扶桑堂	各	昭97
扶桑堂	各	昭98
扶桑堂	各	昭99
扶桑堂	各	昭100
扶桑堂	各	昭101
扶桑堂	各	昭102
扶桑堂	各	昭103
扶桑堂	各	昭104
扶桑堂	各	昭105
扶桑堂	各	昭106
扶桑堂	各	昭107
扶桑堂	各	昭108
扶桑堂	各	昭109
扶桑堂	各	昭110
扶桑堂	各	昭111
扶桑堂	各	昭112
扶桑堂	各	昭113
扶桑堂	各	昭114
扶桑堂	各	昭115
扶桑堂	各	昭116
扶桑堂	各	昭117
扶桑堂	各	昭118
扶桑堂	各	昭119
扶桑堂	各	昭120
扶桑堂	各	昭121
扶桑堂	各	昭122
扶桑堂	各	昭123
扶桑堂	各	昭124
扶桑堂	各	昭125
扶桑堂	各	昭126
扶桑堂	各	昭127
扶桑堂	各	昭128
扶桑堂	各	昭129
扶桑堂	各	昭130
扶桑堂	各	昭131
扶桑堂	各	昭132
扶桑堂	各	昭133
扶桑堂	各	昭134
扶桑堂	各	昭135
扶桑堂	各	昭136
扶桑堂	各	昭137
扶桑堂	各	昭138
扶桑堂	各	昭139
扶桑堂	各	昭140
扶桑堂	各	昭141
扶桑堂	各	昭142
扶桑堂	各	昭143
扶桑堂	各	昭144
扶桑堂	各	昭145
扶桑堂	各	昭146
扶桑堂	各	昭147
扶桑堂	各	昭148
扶桑堂	各	昭149
扶桑堂	各	昭150
扶桑堂	各	昭151
扶桑堂	各	昭152
扶桑堂	各	昭153
扶桑堂	各	昭154
扶桑堂	各	昭155
扶桑堂	各	昭156
扶桑堂	各	昭157
扶桑堂	各	昭158
扶桑堂	各	昭159
扶桑堂	各	昭160
扶桑堂	各	昭161
扶桑堂	各	昭162
扶桑堂	各	昭163
扶桑堂	各	昭164
扶桑堂	各	昭165
扶桑堂	各	昭166
扶桑堂	各	昭167
扶桑堂	各	昭168
扶桑堂	各	昭169
扶桑堂	各	昭170
扶桑堂	各	昭171
扶桑堂	各	昭172
扶桑堂	各	昭173
扶桑堂	各	昭174
扶桑堂	各	昭175
扶桑堂	各	昭176
扶桑堂	各	昭177
扶桑堂	各	昭178
扶桑堂	各	昭179
扶桑堂	各	昭180
扶桑堂	各	昭181
扶桑堂	各	昭182
扶桑堂	各	昭183
扶桑堂	各	昭184
扶桑堂	各	昭185
扶桑堂	各	昭186
扶桑堂	各	昭187
扶桑堂	各	昭188
扶桑堂	各	昭189
扶桑堂	各	昭190
扶桑堂	各	昭191
扶桑堂	各	昭192
扶桑堂	各	昭193
扶桑堂	各	昭194
扶桑堂	各	昭195
扶桑堂	各	昭196
扶桑堂	各	昭197
扶桑堂	各	昭198
扶桑堂	各	昭199
扶桑堂	各	昭200
扶桑堂	各	昭201
扶桑堂	各	昭202
扶桑堂	各	昭203
扶桑堂	各	昭204
扶桑堂	各	昭205
扶桑堂	各	昭206
扶桑堂	各	昭207
扶桑堂	各	昭208
扶桑堂	各	昭209
扶桑堂	各	昭210
扶桑堂	各	昭211
扶桑堂	各	昭212
扶桑堂	各	昭213
扶桑堂	各	昭214
扶桑堂	各	昭215
扶桑堂	各	昭216
扶桑堂	各	昭217
扶桑堂	各	昭218
扶桑堂	各	昭219
扶桑堂	各	昭220
扶桑堂	各	昭221
扶桑堂	各	昭222
扶桑堂	各	昭223
扶桑堂	各	昭224
扶桑堂	各	昭225
扶桑堂	各	昭226
扶桑堂	各	昭227
扶桑堂	各	昭228
扶桑堂	各	昭229
扶桑堂	各	昭230
扶桑堂	各	昭231
扶桑堂	各	昭232
扶桑堂	各	昭233
扶桑堂	各	昭234
扶桑堂	各	昭235
扶桑堂	各	昭236
扶桑堂	各	昭237
扶桑堂	各	昭238
扶桑堂	各	昭239
扶桑堂	各	昭240
扶桑堂	各	昭241
扶桑堂	各	昭242
扶桑堂	各	昭243
扶桑堂	各	昭244
扶桑堂	各	昭245
扶桑堂	各	昭246
扶桑堂	各	昭247
扶桑堂	各	昭248
扶桑堂	各	昭249
扶桑堂	各	昭250
扶桑堂	各	昭251
扶桑堂	各	昭252
扶桑堂	各	昭253
扶桑堂	各	昭254
扶桑堂	各	昭255
扶桑堂	各	昭256
扶桑堂	各	昭257
扶桑堂	各	昭258
扶桑堂	各	昭259
扶桑堂	各	昭260
扶桑堂	各	昭261
扶桑堂	各	昭262
扶桑堂	各	昭263
扶桑堂	各	昭264
扶桑堂	各	昭265
扶桑堂	各	昭266
扶桑堂	各	昭267
扶桑堂	各	昭268
扶桑堂	各	昭269
扶桑堂	各	昭270
扶桑堂	各	昭271
扶桑堂	各	昭272
扶桑堂	各	昭273
扶桑堂	各	昭274
扶桑堂	各	昭275
扶桑堂	各	昭276
扶桑堂	各	昭277
扶桑堂	各	昭278
扶桑堂	各	昭279
扶桑堂	各	昭280
扶桑堂	各	昭281
扶桑堂	各	昭282
扶桑堂	各	昭283
扶桑堂	各	昭284
扶桑堂	各	昭285
扶桑堂	各	昭286
扶桑堂	各	昭287
扶桑堂	各	昭288
扶桑堂	各	昭289
扶桑堂	各	昭290
扶桑堂	各	昭291
扶桑堂	各	昭292
扶桑堂	各	昭293
扶桑堂	各	昭294
扶桑堂	各	昭295
扶桑堂	各	昭296
扶桑堂	各	昭297
扶桑堂	各	昭298
扶桑堂	各	昭299
扶桑堂	各	昭300
扶桑堂	各	昭301
扶桑堂	各	昭302
扶桑堂	各	昭303
扶桑堂	各	昭304
扶桑堂	各	昭305
扶桑堂	各	昭306
扶桑堂	各	昭307
扶桑堂	各	昭308
扶桑堂	各	昭309
扶桑堂	各	昭310
扶桑堂	各	昭311
扶桑堂	各	昭312
扶桑堂	各	昭313
扶桑堂	各	昭314
扶桑堂	各	昭315
扶桑堂	各	昭316
扶桑堂	各	昭317
扶桑堂	各	昭318
扶桑堂	各	昭319
扶桑堂	各	昭320
扶桑堂	各	昭321
扶桑堂	各	昭322
扶桑堂	各	昭323
扶桑堂	各	昭324
扶桑堂	各	昭325
扶桑堂	各	昭326
扶桑堂	各	昭327
扶桑堂	各	昭328
扶桑堂	各	昭329
扶桑堂	各	昭330
扶桑堂	各	昭331
扶桑堂	各	昭332
扶桑堂	各	昭333
扶桑堂	各	昭334
扶桑堂	各	昭335
扶桑堂	各	昭336
扶桑堂	各	昭337
扶桑堂	各	昭338
扶桑堂	各	昭339
扶桑堂	各	昭340
扶桑堂	各	昭341
扶桑堂	各	昭342
扶桑堂	各	昭343
扶桑堂	各	昭344
扶桑堂	各	昭345
扶桑堂	各	昭346
扶桑堂	各	昭347
扶桑堂	各	昭348
扶桑堂	各	昭349
扶桑堂	各	昭350
扶桑堂	各	昭351
扶桑堂	各	昭352
扶桑堂	各	昭353
扶桑堂	各	昭354
扶桑堂	各	昭355
扶桑堂	各	昭356
扶桑堂	各	昭357
扶桑堂	各	昭358
扶桑堂	各	昭359
扶桑堂	各	昭360
扶桑堂	各	昭361
扶桑堂	各	昭362
扶桑堂	各	昭363
扶桑堂	各	昭364
扶桑堂	各	昭365
扶桑堂	各	昭366
扶桑堂	各	昭367
扶桑堂	各	昭368
扶桑堂	各	昭369
扶桑堂	各	昭370
扶桑堂	各	昭371
扶桑堂	各	昭372
扶桑堂	各	昭373
扶桑堂	各	昭374
扶桑堂	各	昭375
扶桑堂	各	昭376
扶桑堂	各	昭377
扶桑堂	各	昭378
扶桑堂	各	昭379
扶桑堂	各	昭380
扶桑堂	各	昭381
扶桑堂	各	昭382
扶桑堂	各	昭383
扶桑堂	各	昭384
扶桑堂	各	昭385
扶桑堂	各	昭386
扶桑堂	各	昭387
扶桑堂	各	昭388
扶桑堂	各	昭389
扶桑堂	各	昭390
扶桑堂	各	昭391
扶桑堂	各	昭392
扶桑堂	各	昭393
扶桑堂	各	昭394
扶桑堂	各	昭395
扶桑堂	各	昭396
扶桑堂	各	昭397
扶桑堂	各	昭398
扶桑堂	各	昭399
扶桑堂	各	昭400
扶桑堂	各	昭401
扶桑堂	各	昭402
扶桑堂	各	昭403
扶桑堂	各	昭404
扶桑堂	各	昭405
扶桑堂	各	昭406
扶桑堂	各	昭407
扶桑堂	各	昭408
扶桑堂	各	昭409
扶桑堂	各	昭410
扶桑堂	各	昭411
扶桑堂	各	昭412
扶桑堂	各	昭413
扶桑堂	各	昭414
扶桑堂	各	昭415
扶桑堂	各	昭416
扶桑堂	各	昭417
扶桑堂	各	昭418
扶桑堂	各	昭419
扶桑堂	各	昭420
扶桑堂	各	昭421
扶桑堂	各	昭422
扶桑堂	各	昭423
扶桑堂	各	昭424
扶桑堂	各	昭425
扶桑堂	各	昭426
扶桑堂	各	昭427
扶桑堂	各	昭428
扶桑堂	各	昭429
扶桑堂	各	昭430
扶桑堂	各	昭431
扶桑堂	各	昭432
扶桑堂	各	昭433
扶桑堂	各	昭434
扶桑堂	各	昭435
扶桑堂	各	昭436
扶桑堂	各	昭437
扶桑堂	各	昭438
扶桑堂	各	昭439
扶桑堂	各	昭440
扶桑堂	各	昭441
扶桑堂	各	昭442
扶桑堂	各	昭443
扶桑堂	各	昭444
扶桑堂	各	昭445
扶桑堂	各	昭446
扶桑堂	各	昭447
扶桑堂	各	昭448
扶桑堂	各	昭449
扶桑堂	各	昭450
扶桑堂	各	昭451
扶桑堂	各	昭452
扶桑堂	各	昭453
扶桑堂	各	昭454
扶桑堂	各	昭455
扶桑堂	各	昭456
扶桑堂	各	昭457
扶桑堂	各	昭458
扶桑堂	各	昭459
扶桑堂	各	昭460
扶桑堂	各	昭461
扶桑堂	各	昭462
扶桑堂	各	昭463
扶桑堂	各	昭464
扶桑堂	各	昭465
扶桑堂	各	昭466
扶桑堂	各	昭467
扶桑堂	各	昭468
扶桑堂	各	昭469
扶桑堂	各	昭470
扶桑堂	各	昭471
扶桑堂	各	昭472
扶桑堂	各	昭473
扶桑堂	各	昭474
扶桑堂	各	昭475
扶桑堂	各	昭476
扶桑堂	各	昭477
扶桑堂	各	昭478
扶桑堂	各	昭

〒604 中京区丸太町通千本西入南側

八木書店古書部

電話(〇七五)八一一二三八九〇

33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1	寺崎広業筆 宝珠之図 墨絵 一紙
玉渕筆(龍世華)敬徳二字	一幅汚傷しみ有
大島君川筆二行詩	一幅しみ有昭1882才歿
従四位西村捨三筆二行詩	一幅明23
僧永明筆一切衆生云々	一幅
凌雲堂文翼筆長詩	一幅
祐宣常和公筆人丸像画贊	一幅
往生要集	6卷三冊摘要虫入元禄10
法事讚觀念法門	合本善導集記虫入江戸末
般舟讚往生禮讚	合本永田調兵衛版虫入江戸末
色紙	菊地契月先生筆花之図
奥村紅穂先生筆竹にうぐひす之図	
淨土文類聚鈔愚禿抄合本一冊虫入補修有寛永13	
平野五岳筆詩	一幅
秋迦真実録合本一冊江戸和泉屋版絵入水ぬれ	
選択本願念佛集本末2冊江州西榮寺版寛政2	
定善義玄義序分義合本善導集記虫入江戸末	
安樂集上下合本道綱撰江州西榮寺版寛政8	
往生論註上下合本巻解永田調兵衛版江戸末	
大雅堂筆南画一幅	
占察善惡業報經上巻冊喜連川偽仏写本	
村田香谷筆岩牧丹之図	一幅
大明藏經目録二合本一冊(上巻)大虫入傷	
鍼灸秩粹上中4冊下巻欠本江戸中判	
中院通茂公筆和歌一幅虫入	
十住毘婆沙論5冊揃虫入開版寛文6	
和讃首書(淨高僧正像)3冊揃丁子屋版寛政頃	
小学入門教授解松川半山註画傷有明9	
仁王般若經疏吉藏法師撰6冊揃寛文元	
多羅祈法真言秘法写本	
聖如意輪觀自在菩薩念誦次第手印写本新撰狂句川柳五百題上下2冊	
柳原英吉編明14	

手島信敬筆 太公望画贊 一幅

おひな様の図 肉筆彩色 一幅

俳諧華実年浪草三餘抄卷上 一冊

春云帖発句 18丁しみ有

柳川画譜木版画山水部重信画(落書場)

遺教經論住法記江州田上牧村真光寺書人本

金光玄義上巻写本北谷龍珠院慈雲藏印

花ふくさ 上巻一本更紗模様木版画帖

巧匠之事 武江の住重著(家相之書)

佛諦あすならふ 下巻 ねつみ傷物

寺崎広業筆 宝珠之図 墨絵 一紙

玉渕筆(龍世華)敬徳二字 一幅汚傷しみ有

大島君川筆二行詩 一幅しみ有昭1882才歿

従四位西村捨三筆二行詩 一幅明23

僧永明筆一切衆生云々 一幅

凌雲堂文翼筆長詩 一幅

祐宣常和公筆人丸像画贊 一幅

往生要集 6卷三冊摘要虫入元禄10

法事讚觀念法門 合本善導集記虫入江戸末

般舟讚往生禮讚 合本永田調兵衛版虫入江戸末

色紙 奥村紅穂先生筆竹にうぐひす之図

淨土文類聚鈔愚禿抄合本一冊虫入補修有寛永13

平野五岳筆詩 一幅

秋迦真実録合本一冊江戸和泉屋版絵入水ぬれ

選択本願念佛集本末2冊江州西榮寺版寛政2

定善義玄義序分義合本善導集記虫入江戸末

安樂集上下合本道綱撰江州西榮寺版寛政8

往生論註上下合本巻解永田調兵衛版江戸末

大雅堂筆南画一幅

占察善惡業報經上巻冊喜連川偽仏写本

村田香谷筆岩牧丹之図 一幅

大明藏經目録二合本一冊(上巻)大虫入傷

鍼灸秩粹上中4冊下巻欠本江戸中判

中院通茂公筆和歌一幅虫入

十住毘婆沙論5冊揃虫入開版寛文6

和讃首書(淨高僧正像)3冊揃丁子屋版寛政頃

小学入門教授解松川半山註画傷有明9

仁王般若經疏吉藏法師撰6冊揃寛文元

多羅祈法真言秘法写本

聖如意輪觀自在菩薩念誦次第手印写本新撰狂句川柳五百題上下2冊

柳原英吉編明14

手島信敬筆 太公望画贊 一幅

おひな様の図 肉筆彩色 一幅

俳諧華実年浪草三餘抄卷上 一冊

春云帖発句 18丁しみ有

柳川画譜木版画山水部重信画(落書場)

遺教經論住法記江州田上牧村真光寺書人本

金光玄義上巻写本北谷龍珠院慈雲藏印

花ふくさ 上巻一本更紗模様木版画帖

巧匠之事 武江の住重著(家相之書)

佛諦あすならふ 下巻 ねつみ傷物

寺崎広業筆 宝珠之図 墨絵 一紙

玉渕筆(龍世華)敬徳二字 一幅汚傷しみ有

大島君川筆二行詩 一幅しみ有昭1882才歿

従四位西村捨三筆二行詩 一幅明23

僧永明筆一切衆生云々 一幅

凌雲堂文翼筆長詩 一幅

祐宣常和公筆人丸像画贊 一幅

往生要集 6卷三冊摘要虫入元禄10

法事讚觀念法門 合本善導集記虫入江戸末

般舟讚往生禮讚 合本永田調兵衛版虫入江戸末

色紙 奥村紅穂先生筆竹にうぐひす之図

淨土文類聚鈔愚禿抄合本一冊虫入補修有寛永13

平野五岳筆詩 一幅

秋迦真実録合本一冊江戸和泉屋版絵入水ぬれ

選択本願念佛集本末2冊江州西榮寺版寛政2

定善義玄義序分義合本善導集記虫入江戸末

安樂集上下合本道綱撰江州西榮寺版寛政8

往生論註上下合本巻解永田調兵衛版江戸末

大雅堂筆南画一幅

占察善惡業報經上巻冊喜連川偽仏写本

村田香谷筆岩牧丹之図 一幅

大明藏經目録二合本一冊(上巻)大虫入傷

鍼灸秩粹上中4冊下巻欠本江戸中判

中院通茂公筆和歌一幅虫入

十住毘婆沙論5冊揃虫入開版寛文6

和讃首書(淨高僧正像)3冊揃丁子屋版寛政頃

小学入門教授解松川半山註画傷有明9

仁王般若經疏吉藏法師撰6冊揃寛文元

多羅祈法真言秘法写本

聖如意輪觀自在菩薩念誦次第手印写本新撰狂句川柳五百題上下2冊

柳原英吉編明14

手島信敬筆 太公望画贊 一幅

おひな様の図 肉筆彩色 一幅

俳諧華実年浪草三餘抄卷上 一冊

春云帖発句 18丁しみ有

柳川画譜木版画山水部重信画(落書場)

遺教經論住法記江州田上牧村真光寺書人本

金光玄義上巻写本北谷龍珠院慈雲藏印

花ふくさ 上巻一本更紗模様木版画帖

巧匠之事 武江の住重著(家相之書)

佛諦あすならふ 下巻 ねつみ傷物

寺崎広業筆 宝珠之図 墨絵 一紙

玉渕筆(龍世華)敬徳二字 一幅汚傷しみ有

大島君川筆二行詩 一幅しみ有昭1882才歿

従四位西村捨三筆二行詩 一幅明23

僧永明筆一切衆生云々 一幅

凌雲堂文翼筆長詩 一幅

祐宣常和公筆人丸像画贊 一幅

往生要集 6卷三冊摘要虫入元禄10

法事讚觀念法門 合本善導集記虫入江戸末

般舟讚往生禮讚 合本永田調兵衛版虫入江戸末

色紙 奥村紅穂先生筆竹にうぐひす之図

淨土文類聚鈔愚禿抄合本一冊虫入補修有寛永13

平野五岳筆詩 一幅

秋迦真実録合本一冊江戸和泉屋版絵入水ぬれ

選択本願念佛集本末2冊江州西榮寺版寛政2

定善義玄義序分義合本善導集記虫入江戸末

安樂集上下合本道綱撰江州西榮寺版寛政8

往生論註上下合本巻解永田調兵衛版江戸末

大雅堂筆南画一幅

占察善惡業報經上巻冊喜連川偽仏写本

村田香谷筆岩牧丹之図 一幅

大明藏經目録二合本一冊(上巻)大虫入傷

鍼灸秩粹上中4冊下巻欠本江戸中判

中院通茂公筆和歌一幅虫入

十住毘婆沙論5冊揃虫入開版寛文6

和讃首書(淨高僧正像)3冊揃丁子屋版寛政頃

小学入門教授解松川半山註画傷有明9

仁王般若經疏吉藏法師撰6冊揃寛文元

多羅祈法真言秘法写本

聖如意輪觀自在菩薩念誦次第手印写本新撰狂句川柳五百題上下2冊

柳原英吉編明14

手島信敬筆 太公望画贊 一幅

おひな様の図 肉筆彩色 一幅

俳諧華実年浪草三餘抄卷上 一冊

春云帖発句 18丁しみ有

柳川画譜木版画山水部重信画(落書場)

遺教經論住法記江州田上牧村真光寺書人本

金光玄義上巻写本北谷龍珠院慈雲藏印

花ふくさ 上巻一本更紗模様木版画帖

巧匠之事 武江の住重著(家相之書)

佛諦あすならふ 下巻 ねつみ傷物

寺崎広業筆 宝珠之図 墨絵 一紙

玉渕筆(龍世華)敬徳二字 一幅汚傷しみ有

大島君川筆二行詩 一幅しみ有昭1882才歿

従四位西村捨三筆二行詩 一幅明23

僧永明筆一切衆生云々 一幅

凌雲堂文翼筆長詩 一幅

祐宣常和公筆人丸像画贊 一幅

往生要集 6卷三冊摘要虫入元禄10

法事讚觀念法門 合本善導集記虫入江戸末

般舟讚往生禮讚 合本永田調兵衛版虫入江戸末

色紙 奥村紅穂先生筆竹にうぐひす之図

淨土文類聚鈔愚禿抄合本一冊虫入補修有寛永13

平野五岳筆詩 一幅

秋迦真実録合本一冊江戸和泉屋版絵入水ぬれ

選択本願念佛集本末2冊江州西榮寺版寛政2

定善義玄義序分義合本善導集記虫入江戸末

安樂集上下合本道綱撰江州西榮寺版寛政8

往生論註上下合本巻解永田調兵衛版江戸末

大雅堂筆南画一幅

占察善惡業報經上巻冊喜連川偽仏写本

村田香谷筆岩牧丹之図 一幅

大明藏經目録二合本一冊(上巻)大虫入傷

鍼灸秩粹上中4冊下巻欠本江戸中判

中院通茂公筆和歌一幅虫入

十住毘婆沙論5冊揃虫入開版寛文6

和讃首書(淨高僧正像)3冊揃丁子屋版寛政頃

小学入門教授解松川半山註画傷有明9

仁王般若經疏吉藏法師撰6冊揃寛文元

多羅祈法真言秘法写本

聖如意輪觀自在菩薩念誦次第手印写本新撰狂句川柳五百題上下2冊

柳原英吉編明14

手島信敬筆 太公望画贊 一幅

おひな様の図 肉筆彩色 一幅

俳諧華実年浪草三餘抄卷上 一冊

春云帖発句 18丁しみ有

柳川画譜木版画山水部重信画(落書場)

遺教經論住法記江州田上牧村真光寺書人本

金光玄義上巻写本北谷龍珠院慈雲藏印

花ふくさ 上巻一本更紗模様木版画帖

巧匠之事 武江の住重著(家相之書)

佛諦あすならふ 下巻 ねつみ傷物

寺崎広業筆 宝珠之図 墨絵 一紙

玉渕筆(龍世華)敬徳二字 一幅汚傷しみ有

大島君川筆二行詩 一幅しみ有昭1882才歿

従四位西村捨三筆二行詩 一幅明23

僧永明筆一切衆生云々 一幅

凌雲堂文翼筆長詩 一幅

祐宣常和公筆人丸像画贊 一幅

往生要集 6卷三冊摘要虫入元禄10

法事讚觀念法門 合本善導集記虫入江戸末

般舟讚往生禮讚 合本永田調兵衛版虫入江戸末

色紙 奥村紅穂先生筆竹にうぐひす之図

淨土文類聚鈔愚禿抄合本一冊虫入補修有寛永13

平野五岳筆詩 一幅

秋迦真実録合本一冊江戸和泉屋版絵入水ぬれ

選択本願念佛集本末2冊江州西榮寺版寛政2

定善義玄義序分義合本善導集記虫入江戸末

安樂集上下合本道綱撰江州西榮寺版寛政8

往生論註上下合本巻解永田調兵衛版江戸末

大雅堂筆南画一幅

占察善惡業報經上巻冊喜連川偽仏写本

村田香谷筆岩牧丹之図 一幅

大明藏經目録二合本一冊(上巻)大虫入傷

鍼灸秩粹上中4冊下巻欠本江戸中判

中院通茂公筆和歌一幅虫入

十住毘婆沙論5冊揃虫入開版寛文6

和讃首書(淨高僧正像)3冊揃丁子屋版寛政頃

小学入門教授解松川半山註画傷有明9

仁王般若經疏吉藏法師撰6冊揃寛文元

多羅祈法真言秘法写本

聖如意輪觀自在菩薩念誦次第手印写本新撰狂句川柳五百題上下2冊

柳原英吉編明14

手島信敬筆 太公望画贊 一幅

おひな様の図 肉筆彩色 一幅

俳諧華実年浪草三餘抄卷上 一冊

春云帖発句 18丁しみ有

柳川画譜木版画山水部重信画(落書場)

遺教經論住法記江州田上牧村真光寺書人本

金光玄義上巻写本北谷龍珠院慈雲藏印

花ふくさ 上巻一本更紗模様木版画帖

巧匠之事 武江の住重著(家相之書)

佛諦あすならふ 下巻 ねつみ傷物

寺崎広業筆 宝珠之図 墨絵 一紙

玉渕筆(龍世華)敬徳二字 一幅汚傷しみ有

大島君川筆二行詩 一幅しみ有昭1882才歿

従四位西村捨三筆二行詩 一幅明23

僧永明筆一切衆生云々 一幅

凌雲堂文翼筆長詩 一幅

祐宣常和公筆人丸像画贊 一幅

往生要集 6卷三冊摘要虫入元禄10

法事讚觀念法門 合本善導集記虫入江戸末

般舟讚往生禮讚 合本永田調兵衛版虫入江戸末

〒604 京都市中京区河原町通六角下ル

赤尾照文堂

電話(075) 二二一一五八八
振替 京都 三三三二六

1 日本国語大辞典 小学館	昭51	一〇冊	金, 000
2 大漢和辞典 大修館書店	昭51	一三冊	金, 000
3 世界大百科事典 平凡社	昭47	三五冊	金, 000
4 万有百科大事典(ジャンル・ジャボニカ) 小学館	昭47	三四冊	金, 000
5 ゴリタニカ(五七〇年版) 附録共	昭45	四五冊	金, 000
6 アボロ百科事典 平凡社	昭44	三冊	六, 000
7 大言海 大概文彥 富山房	昭44	三冊	六, 000
8 大辞典(縮刷版) 平凡社	昭43	二三冊	五, 000
9 大辞典(縮刷版) 平凡社	昭43	二冊	五, 000
10 日本文学大辞典 新潮社	昭43	八冊	五, 000
11 講座日本文学(三省堂)	昭43	一六函	五, 000
12 佩文韻府	昭43	三冊	五, 000
13 種類聚名物考	昭43	四冊	五, 000
14 翁草(近世史料叢書)	昭43	七冊	五, 000
15 岩波講座 日本文学史	昭43	七冊	五, 000
16 日本社会事象	昭43	八冊	五, 000
17 玉葉	昭43	五冊	五, 000
18 明月記(元版)	昭43	三冊	五, 000
19 吾妻鏡	昭43	三冊	五, 000
20 御触書集成	昭43	三冊	五, 000
21 日本風俗史講座	昭43	三冊	五, 000
22 岩波書店	昭43	三冊	五, 000
23 雄山閣	昭43	三冊	五, 000
24 国書刊行会	昭43	三冊	五, 000
25 明月記(元版)	昭43	三冊	五, 000
26 吾妻鏡	昭43	三冊	五, 000
27 御触書集成	昭43	三冊	五, 000
28 日本風俗史講座	昭43	三冊	五, 000
29 岩波書店	昭43	三冊	五, 000
30 雄山閣	昭43	三冊	五, 000
31 未来社	昭43	三冊	五, 000
32 日本の民話	昭43	三冊	五, 000
33 幸田成友著作集	昭43	三冊	五, 000
34 幸崎正治著作集	昭43	三冊	五, 000
35 国書刊行会	昭43	三冊	五, 000
36 未来社	昭43	三冊	五, 000
37 江戸時代図誌	昭43	三冊	五, 000
38 若越小誌	昭43	三冊	五, 000
39 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
40 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
41 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
42 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
43 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
44 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
45 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
46 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
47 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
48 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
49 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
50 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
51 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
52 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
53 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
54 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
55 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
56 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
57 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
58 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
59 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
60 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
61 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
62 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
63 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
64 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
65 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
66 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
67 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
68 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
69 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
70 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
71 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
72 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
73 丹生人物誌	昭43	三冊	五, 000
74 奈良市史	昭43	三冊	五, 000
75 吉野川分水史	昭43	三冊	五, 000
76 熊野地方史研究会編	昭43	三冊	五, 000
77 高野山通念集	昭43	三冊	五, 000
78 すみや書店	昭43	三冊	五, 000
79 芸林舎	昭43	三冊	五, 000
80 村井古道	昭43	三冊	五, 000
81 京川弘文館	昭43	三冊	五, 000
82 岩波書店	昭43	三冊	五, 000
83 研究室 平安京遷都史	昭43	三冊	五, 000
84 京都名塚墓錄	昭43	三冊	五, 000
85 新修京都叢書	昭43	三冊	五, 000
86 東浅井郡志	昭43	三冊	五, 000
87 近江神崎郡志稿	昭43	三冊	五, 000
88 滋賀県八幡町史	昭43	三冊	五, 000
89 清文堂	昭43	三冊	五, 000
90 光彩社	昭43	三冊	五, 000
91 学芸書林	昭43	三冊	五, 000
92 淡交社	昭43	三冊	五, 000
93 新修京都叢書	昭43	三冊	五, 000
94 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
95 歴史の京都	昭43	三冊	五, 000
96 平安通志	昭43	三冊	五, 000
97 新修京都叢書	昭43	三冊	五, 000
98 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
99 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
100 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
101 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
102 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
103 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
104 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
105 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
106 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
107 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
108 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
109 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
110 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
111 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
112 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
113 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
114 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
115 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
116 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
117 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
118 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
119 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
120 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
121 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
122 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
123 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
124 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
125 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
126 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
127 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
128 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
129 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
130 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
131 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
132 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
133 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
134 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
135 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
136 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
137 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
138 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
139 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
140 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
141 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
142 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
143 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
144 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
145 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
146 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
147 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
148 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
149 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
150 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
151 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
152 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
153 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
154 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
155 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
156 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
157 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
158 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
159 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
160 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
161 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
162 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
163 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
164 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
165 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
166 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
167 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
168 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
169 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
170 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
171 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
172 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
173 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
174 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
175 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
176 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
177 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
178 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
179 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
180 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
181 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
182 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
183 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
184 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
185 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
186 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
187 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
188 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
189 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
190 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
191 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
192 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
193 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
194 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
195 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
196 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
197 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
198 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
199 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
200 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
201 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
202 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
203 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
204 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
205 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
206 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
207 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
208 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
209 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
210 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
211 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
212 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
213 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
214 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
215 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
216 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
217 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
218 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
219 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
220 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
221 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
222 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
223 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
224 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
225 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
226 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
227 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
228 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
229 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
230 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
231 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
232 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
233 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
234 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
235 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
236 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
237 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
238 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
239 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
240 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
241 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
242 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
243 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
244 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
245 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
246 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
247 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
248 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
249 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
250 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
251 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
252 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
253 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
254 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
255 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
256 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
257 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
258 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
259 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
260 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
261 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
262 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
263 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
264 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
265 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
266 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
267 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
268 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
269 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
270 京都の歴史	昭43	三冊	五, 000
271 京都の歴史	昭43	三冊	五

〒600
京都市下京区寺町通り五条上ル

藤井文政堂

電話(〇七五)三五一九三六三
振替大阪三一五三



A
道光時蘇州人丁所種生熟皆善成供
應而名聲何莫謂之生熟其供應生不逆三
季如未收時亦可說熟生間有情

B

A 図像鈔 諸佛第一 室町時代写本 一卷 
図像鈔は十巻抄とも云い、全部で十巻の図像書 内容は、
諸尊の梵号、密号、種子、三摩耶形、その形像を説明図
示したものである。

▲ 図像鈔 諸佛第一 室町時代写本 一巻 八、
図像鈔は十巻抄とも云い、全部で十巻の図像書内容は
諸尊の梵号、密号、種子、三摩耶形、その形象を説明図
示したものである。
本巻は十巻中第一巻、諸仏で大日から如来十尊を素描で
顯わす。奥書が無い為書写年代、伝本系統は不明である
が図像筆写から見て室町期のものと思われる。

B 九重守 江戸時代 一卷
九重守は、諸尊像、陀羅尼、神咒、曼荼羅等の肝要なるものを集載した、経文の守である。特定の本尊を、定めず庶民崇拝的な修驗道の信仰を母胎としその系統の人より古くは、室町期より庶民信仰の対照として作り出されたもので密教の要素が顯著である。江戸期に何種も開版され真言系弘法作と天台系伝教作の二種がある。本巻は天台系に属し全長12米、図像130種、曼荼羅40種、真言陀羅尼咒50種、薄様紙使用、巻頭に慈門の印あり。

陽明叢書国書篇

第十六輯 源氏物語 全十六冊

近衛通隆・田山方南監修/陽明文庫編集

藤原宗家、五摺家の筆頭として千

余年の伝統に輝く近衛家伝来の文
庫、陽明文庫叢書の貴重資料の中より、国文学関係のものを選んで
刊行された先の『陽明叢書国書篇
全十五輯』に引き続き第十六輯とし
て、青表紙本系にも河内本系にも
属さぬ別本として貴重な本文を伝
える重要文化財『源氏物語』(鎌
倉中期書写)を原本さながらに複
製、翻刻を加えて上梓。

(菊判・各巻平均四三〇頁)

第一巻『桐壺・帚木・空蟬・夕顔』発売中!!

全巻予約特価九、〇〇〇円/定価九、五〇〇円
(三ヶ月毎刊行・全巻予約平均予価八、一〇〇円)

(桐壺)

大坂蘭学史話 中野操著

足で調べた新知見を縦糸に、永年に亘る収集史料の蓄積を横糸に、透徹な史
眼、尽きぬ情熱で繰る近世大坂蘭学の盛衰!● 定価二、八〇〇円
内容目次 大坂蘭学史上の先駆者たち/大坂の蘭学始と橋本宗吉/橋本宗
吉をめぐる人々/海上通商とその学系/長崎派/シーボルトの門人たち/諸
方洪庵と達摩/舍密局とハラタマ/大阪医学校と三人のオランダ人教師/知
蘭派の町人文化人たち/大坂蘭学史跡並解説/大坂における蘭学の学統と学
統一覧図/大坂蘭学拾遺/大坂蘭学の終焉(口絵・挿図多数収録)

思文閣出版

京都市左京区田中閑田町二一七〇七五一一七八一
東京都千代田区三崎町二一〇〇一〇三一六三一六三四八

臨川書店

本社 京都府京都市左京区今出川通川端東入
東京支店 千代田区飯田橋四七六号ビル
03-7811-6166 (代)
263-4329

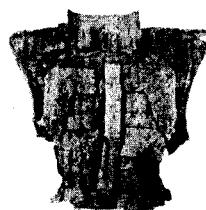
藤直幹・井上薰・北野耕平著

河内における古墳の調査

序説/国分ヌク谷北塚古墳/富田林真名井古
墳/駒ヶ谷宮山古墳/野中アリ山古墳/考察

● B5判・二〇八頁・挿図九八図

● 定価 一〇〇〇〇円



北野耕平著

河内野中古墳の研究

序説/古墳の位置と外形/墳頂部の遺物配列
/内部構造と遺物の配列/遺物各説/遺跡と
遺物に対する考察/古墳の年代と被葬者の性
格

● B5判・二六二頁・挿図一一八図

● 定価 一〇,〇〇〇円



大阪南部の古市古墳は、日本有数の前方後円墳であり、考古学的研究対象としてはもとより、古代王朝解明の重要な資料であるが、内部構造や副葬品は明らかではなく、外形的観察以外に手段がないという大きな研究上の制約があった。しかし、これに従属して陪塚的位置を占めるアリ山古墳・野中古墳等、数基の小型古墳から、発掘された鉄製武器を中心とした夥しい出土品は、とりもなおさず、河内王朝の権力基盤を考古学的に裏付けると共に全国の諸地域における五世紀型古墳を識別(編年する上での基本的資料として重要なものになるであろう)。

※二冊セット特価 一九、〇〇〇円